

今こそ 若い力で 新しい習志野。

Report 関根ひろゆき No. 41

令和三年度 第四回定例会市政報告



教育環境の整備について

Q: コロナ禍における教育環境の整備、支援の取り組みについて伺う。

A: 子ども達の「知・徳・体」にわたる成長を支えるため、教育活動を停滞させないよう整備に取り組んでいる。

学校での感染拡大防止のため、トイレの自動水栓の設置や飛沫防止用衝立、空気清浄機の整備等を行い、一部デジタル教科書の整備や、対面授業とオンライン授業を選択できるハイブリット授業の実施。その際に、通信環境が整備されていない家庭については、ルーターを市の負担で貸し出しをしている。

タブレットの持ち帰り??

習志野市では、子ども達に情報活用能力をはじめ、言語能力や問題発見・解決能力等の資質能力育成のため、日常的にICT機器に触れる機会を増やし、積極的な活用を図ることが重要と捉えており、毎日の持ち帰りをさせております。教科書等はいわゆる「置き勉」を推奨し、ランドセルの重さ軽減をしております。



ICT支援員等の活用

Q: ICT支援員及びICT学習指導員の活用について伺う。

A: ICT支援員については、今年度4名が市内小中学校23校を4つのグループに分けて配置され、各校支援をしている。

ICTを活用した授業への支援や教材作成の支援、児童生徒や教員への操作支援、端末トラブルの対応、ICT活用の校内研修の指導・助言を主に担っている。また学習指導員は要請訪問や定期的な学校訪問を行い、サポートを行っている。

デジタル教科書の現状

文部科学省の実証事業に参加をし、小学校全校の5・6年生児童及び3校の重点校の全児童、また中学校全生徒に市で指定した1教科の学習者用デジタル教科書を整備。

また、市独自の事業として小学校に算数、中学校に国語と数学を自閉症情緒学級の全児童生徒に配備しております。

要望：市内の学校を見学させていただいたが、学校によって活用方法の格差が生じている。

この格差を埋めるためには研修やICT支援員の活用、教員個々の努力はもちろんだが、教育委員会が主導していかなければ、市全体の水準は上がってこない。

教員の能力、タブレット端末への習熟度の格差が、子ども達の学びの格差になってはいけない。

積極的な支援や、ステークホルダーに対してのアンケートの実施等を積極的に行い、ICT教育日本一を目指してほしい。

命を守る都市宣言の制定

Q: (仮称)命を守る都市宣言の制定について伺う。

A: すべての人々が一人一人の人権を尊重すること、排除されずに各々の能力が発揮でき、受け入れられ、参加できる社会にすること、いかなる暴力も受けず、年齢や疾病、障がい。人種や信条、性的指向などに関係なく安心して生活が出来るよう、来年5月の宣言を目指している。

要望：当選以来この宣言の制定を訴えてきた。宣言をするだけでなく、宣言を最大限活用できるような横断的な組織体制の整備と新設、SDGsのゴールに沿った各種施策への結び付けを。

都市宣言のタイムスケジュール

- ①年末までに素案を作成
- ②令和4年2月上旬までにパブリックコメント案をまとめ
- ③2月～3月パブリックコメントの実施
- ④意見の整理や案の修正をし、4月に最終案の作成
- ⑤5月に宣言

活動報告 Report

関根ひろゆき



宮本市長への要望書の提出



新年の集いでのお囃子演奏

PROFILE

関根洋幸 (せきね ひろゆき)

1986年7月13日生まれ

谷津保健病院にて出生

習志野市立谷津幼稚園卒園

習志野市立谷津小学校卒業

習志野市立第一中学校卒業

習志野市立習志野高等学校卒業

亜細亜大学法学部法律学科卒業

Western Washington University留学

参議院議員事務所勤務

千葉県議会議員事務所勤務

衆議院小林鷹之公設秘書として勤務

2015年習志野市議会議員初当選

2019年習志野市議会議員選挙当選(二期目)

ホームページ

<http://sekine-hiroyuki.jp>

発行：関根ひろゆき後援会

習志野市谷津5-29-6

☎ & ④ : 047-779-4092

討議資料

